

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和03年09月01日

計画の名称	木曽岬町における災害時に備えた防災子ども安全まちづくりの推進（防災・安全）												
計画の期間	平成30年度～平成32年度（3年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	木曽岬町												
計画の目標	<p>本町は、大規模防災対策特別措置法に基づく地震防災対策強化地域（平成14年4月指定）、及び南海トラフ地震に係る地震防災対策の推進に関する特別措置法に基づく南海トラフ防災対策推進地域（平成26年3月）に指定されている。</p> <p>このことから以下の項目について、計画の目標を定める。</p> <p>避難所として指定されている木曽岬小学校への避難路において、見通しの確保および歩道整備を実施し、避難時の安全確保および通学路の安全確保を行う。</p>												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	98	A	98	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
1	木曽岬小学校へ安全に通学出来る児童数の割合を76%から100%にする。 木曽岬小学校へ安全に通学できる児童数の割合を算定	H29当初 76%		H32末 100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H30	H31	R02	R03	R04			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
市街地整備事業	A13-001	都市防災	一般	木曽岬町	直接	木曽岬町	-	-	地区公共施設等整備(田代地区)	避難路1路線	木曽岬町						98	-	
											小計						98		
											合計						98		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

木曾岬町にて数値目標の達成状況や事業の効果を検証し評価を行った。

事後評価の実施時期

令和3年9月

公表の方法

木曾岬町ホームページ

事業効果の発現状況

定量的指標に関連する  
交付対象事業の効果の発現状況

避難路整備を実施したことにより、見通しが確保され、地域住民及び小学生が避難所となっている木曾岬小学校へ安全に避難及び通学することが可能になった。

定量的指標以外の交付対象事業の  
効果の発現状況（必要に応じて記述）

当該事業で木曾岬小学校前に歩道が整備されたことで、児童が安全に通学できるようになった。

特記事項（今後の方針等）

避難路の整備により、安全に避難できるよう基盤が整った。今後は発災時に迅速かつ安全に避難できるように、避難訓練や防災講習を引き続き行っていきたい。

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	100%	
	最終 目標値	100%
	最終 実績値	100%